

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和4年6月16日 ～ 令和5年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>VI. その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの学習の状況を的確に把握する評価方法及び個に応じた指導の在り方について ・既卒者の入学希望を受け入れるにあたっての課題整理と対応について ・日本語指導にあたる教員の資質向上と指導の充実について
調査研究のねらい	<p>○ 形式卒業者の受け入れにより、これまでは少なかった、高等学校等への進路希望を有する生徒への進路指導や、昼間に学ぶことを希望する生徒に対応した、二部制での学校運営についての検討が求められるようになる。また、進路だけでなく、生徒たちの多様な教育的ニーズにいかに対応していくかも課題の一つである。来日間もない外国籍の生徒は、まず日常生活に必要な日本語での会話力をつける事が課題であり、すでに日本で何年か暮らしている生徒にとっては読み書きについて学びたいというニーズが高い。それぞれのテーマは個々の生徒の生活や状況により異なるが、それに合わせた汎用性のあるカリキュラムについても研究する。</p> <p>○ 教育機会確保法や不登校支援施策によって入学希望者の増加が予測されるが、まだまだ夜間学級について広く知られているとは言えず、さらなる効果的な広報が必要である。そのため、これまでチラシやポスターを作成し配布してきたが、それだけではなく積極的に関係機関と連携して生徒の受け入れ拡大を図る。また、ホームページを数回更新し、学校の広報活動を通して、多様な生徒の受け入れ拡大を図る。</p> <p>○ 外国にルーツをもつ生徒が全体の8割を占めており、生徒個々の日本語の習熟度や学習状況も様々である。そこで、個々の生徒に応じた指導方法等について研究することにより、基礎・基本の定着を図る。</p>
調査研究の成果	<p>○ 進学希望など、個々のニーズに応じた学習支援の在り方について研究し、実践につなげた。生徒の実態把握や、カウンセリング等支援の在り方について校内研修を実施し、共通理解を図</p>

った。その上で、各担任が生徒に対し個別に懇談などで、何に困っているのかを丁寧に聴きとることで生徒支援体制の充実を図った。

- 調査研究期間を通し、日本語を読むこと、書くことの指導方法について調査研究を行い、学習指導においては特に生徒一人ひとりの日本語能力の実態を把握した。教員が授業や学校生活などの様々な場面を通じて、生徒個々の日本語能力を把握し、教員間で共有し、基礎・基本の定着に向けた指導実践につなげた。

【 6月 】

- ・校内研修 『テーマ：学力の基礎となる日本語力を高めるための教材の工夫について。個々の生徒の指導方法について。』

日本語をほとんど話せない生徒にとって、日本語教育に大切なことや必要なことについて研修した。日本語指導における教材の工夫や個々の生徒に応じた指導方法を確認できた。本校では、生徒の年齢又は国籍その他の置かれている事情が多岐にわたるため、個々の生徒の指導方針を再検討した。生活面や心情面で不安を抱えながら学習している生徒もあり、研修後は、必要に応じて、カウンセラーの助言も活用することを指導方法の一つとして生かした。

【 8月 】

- ・先進校視察 岡山市で開催される夜間中学増設運動全国交流集會に参加する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため研修するのを控えた。

【 9月 】

- ・生徒個別の実態調査の実施

生徒個別の実態を懇談などで把握し、個々の抱える課題を整理した。生徒個々の現状の課題に沿って、解決方法を調査研究し、翌月の校内研修につなげた。

【 10月 】

- ・校内研修 『テーマ：実態調査の内容の分析』
夜間学級の現状と今後の課題や生徒個々の実態と学習状況について研修した。これまでの夜間学級での実践を今後どのように生かしていくかを議論した。その後、個々の生徒の学習状況や進路希望などについて校内での情報共有を図った。また、高校進学希望生徒については、新たに指導計画を立てた。とりわけ、これからは不登校生徒による学び直しに向けての課題を解決していく必要があるため、生徒やその家族がソーシャルワーカーとも相談できるように関係機関との連携につなげた。

【 1 1 月 】

- ・校内研修 『テーマ：日本語の効果的な指導方法と評価方法について』
日本語指導の専門家を招き、国語教育と日本語教育の違いといった基礎的なことから、授業における日本語の効果的な指導方法や生徒個々に対する評価方法について研修した。研修後には、日本語及び各教科の指導内容の検討を行った。また、評価方法についても、生徒個票や個別の指導計画に反映させた。
- ・先進校視察 埼玉県川口市立芝西中学校陽春分校で開催された全国夜間中学校研究大会に参加した。分科会や授業見学を通して、入学希望既卒者受け入れの現状や、各教科の指導方法等について学んだ。今回の研修に参加し学んだことを教員間で共有し、本校での授業を工夫することや生徒の興味・関心をひきつける教材づくりにつなげた。

【 2 月 】

- ・職員研修 大阪府八尾市立八尾中学校を訪問し、生徒からの取組発表や生徒の作品観賞を通して、他校の夜間学級の取組について学ぶことができた。本校でも、来年度の作品展発表の方法について検討し、従来の美工の時間の作品に加え、他教科の作品やその他様々な取組の成果物なども合わせて展示していく予定で

	<p>ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総括会議 最終的な個々の生徒の学習状況について情報共有を図り、次年度の課題と個別の指導計画について協議した。 <p>【 3月 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文集作成 1年間の学習成果をまとめた文集を作成した。 ・まとめ 1年間の夜間学級での取組の成果について、学校のホームページにて発信し、共有した。
--	---